

1 題材の目標及び題材構想

「イチゴの容器栽培」（8時間完了）

(1) 題材の目標

- ① 容器栽培に関する技術に興味・関心をもち、意欲的に容器栽培に取り組み、身に付けた知識や技術を生かそうとしている。
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- ② 容器栽培の計画を立て、目的にあった方法かどうか評価し、生長の変化や違いに気付き、育て方を工夫し、よりよく栽培することができる。
(生活を工夫し創造する能力)
- ③ 容器栽培する生物に適した育成環境で栽培計画・作業・管理することができる。
(生活の技能)
- ④ 容器栽培の実習を通して、持続可能な社会の実現に向けて、生物育成技術の果たすべき役割について理解を深めることができる。
(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】	容器栽培に関する技術に興味・関心をもち、意欲的に容器栽培に取り組み、身に付けた知識や技術を生かそうとしている。
生活を工夫し創造する能力・・・【工】	容器栽培の計画を立て、目的にあった方法かどうか評価し、生長の変化や違いに気付き、育て方を工夫し、よりよく栽培している。
生活の技能・・・【技】	容器栽培する生物に適した育成環境で栽培計画・作業・管理している。
生活や技術についての知識・理解・・・【知】	容器栽培の実習を通して、持続可能な社会の実現に向けて、生物育成技術の果たすべき役割について理解を深めている。

(3) 題材構想

各過程のねらい	時数	学 習 活 動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
○生物育成の技術と生活との関わりを考えるとともに、地域で盛んに栽培されているイチゴを栽培したいという意欲をもつ。	1	1 生物育成技術の進歩が生活に与えた影響について考える。 ・さまざまな生物育成技術を知る。 ・育成条件や管理技術の改善、品種改良によってもたらされた生活の変化について考える。 2 地域で盛んに栽培されているイチゴの品種や特徴について知る。	・さまざまな生物育成技術の進歩の例を画像や動画で提示する。 ☆生物育成技術と生活との関わりを理解することができる。 (ワークシート)【知】 ・関心をもたせるために、実際のイチゴ栽培の動画や地元のイチゴ農園のウェブページやブログなどを閲覧させる。 ☆地域で盛んに栽培されていることを理解し、意欲的に栽培しようとしている。 (ワークシート)【関】
○作物の育成に必要な条件や管理について知り、イチゴの容器栽培の方法を考える。	2	3 作物の育成に必要な栽培の基礎的な知識を理解する。 ・作物の生育に適する条件について知り、ワークシートにまとめる。 ・栽培に適した土の条件やたい肥について知り、ワークシートにまとめる。 ・種まきや苗の植えつけの仕方について知り、ワークシートにまとめる。 ・作物の手入れの仕方や適切な管理について知り、ワークシートにまとめる。	・栽培方法をワークシートにまとめさせることで、基礎的な知識の定着を図る。 ☆作物の育成条件や管理方法について理解し、まとめることができる。 (ワークシート)【知】 ・栽培計画を立てやすくするために、イチゴ栽培の資料やワークシートを準備する。 ☆イチゴの容器栽培に必要な条件や管理方法について考えて、栽培計画を立てることができる。 (ワークシート)【工】

		4 イチゴの容器栽培に必要な条件や管理方法について考え、栽培計画を立てる。 ・イチゴの栽培計画をワークシートにまとめる。	
○イチゴの容器栽培に必要な作業を考え、イチゴを育てる。	4	5 イチゴを容器栽培する。 ・ペットボトルを加工し、鉢となる容器を準備する。 ・培養土と元肥を準備し、苗の植え付けを行う。※保温用マルチ ・水やり、排水（土が乾いたら） ・日光と温度管理 ・枯れ葉取り ・追肥（月に1回） ・人工授粉 ・収穫（1月～3月）	・イチゴの生長や変化に気付かせるため栽培記録用紙を準備する。 ☆栽培条件を正しく管理し、イチゴを栽培することができる。 （栽培記録、栽培したイチゴ）【技】 ☆イチゴを早く成熟させたり、おいしく育てたりするために栽培計画を修正できる。 （栽培記録、栽培したイチゴ）【工】
○イチゴの容器栽培の栽培記録を検証し、よりよい栽培方法について考えとともに、これからの生活の中で、生物育成の果たすべき役割について関心を深める。	1	6 イチゴの容器栽培について振り返り、栽培方法の改善について考える。 7 イチゴの栽培の感想をまとめ、これからの生活の中での生物育成の果たすべき役割を考える。 ・栽培記録用紙に感想をまとめる。	☆栽培方法の改善点を考えることができる。 （栽培記録）【工】 ☆生活の中で、生物育成の果たすべき役割について関心を深めようとしている。 （栽培記録）【関】